

会務報告

第9回 (1990年度) 研究発表会および総会

第9回研究発表会ならびに総会は、1990年5月19日(土)午後2時30分より、県立教育センター第1研修室で開催された。あいにくの荒天にもかかわらず参加者は58名であった。総会では、事業計画案および予算案の審議や1990年度研究会のお知らせの後、研究発表9題と活発な質疑応答があり、盛会であった。

研究発表後、恒例の懇親会が同センター内で催され、有意義な情報交換が行われた。

本研究会は、会員の発表の場であり、またお互いの情報を交換する場でもある。研究テーマなどについての相談も会員相互に行い、積極的に発表されている。

研究発表会(発表12分、質疑3分)

15:10~16:25 座長 秋山 守

(1) 「環境教育の場」としての多摩川

小林 貞, 片岡久美子 (カリタス女子中学高等学校)

(2) ダウン症候群にみる染色体異常の研究の流れ

平賀保彦 (県立舞岡高等学校)

(3) 帰化植物の種子発芽に対する酸性雨等の影響

川口 均 (県立秦野高等学校)

(4) 探究の試みとしてのベタ (*Betta splendens*) の行動観察

苗川博史 (湘南工科大学付属高等学校)

(5) 神奈川学園西グラウンド定置枠内の雑草群落と踏みつけの生態学的関係について

藤崎洋子 (神奈川学園高等学校)

16:25~17:25 座長 小林 貞

(6) トンボ個体群を追ってⅥ. 研究グループにおける研究発表の効果

平野, 中村, 小林, 新谷, 石井 (橋本生研グループ), 田口正男 (県立橋本高等学校)

(7) ミカヅキモを使った原形質分離の実験

万行由美子 (県立瀬谷西高等学校)

(8) カブトエビの教材化について

染谷 厚 (県立寒川高等学校)

(9) アリをいかそう

酒井春彦 (大井町立大井小学校)

研究会報告

本年度も3回の研究会を実施した。第1回は6月30日午後5時30分より厚木市七沢の県立自然保護センターにて、自然保護センター主催の観察会に混ざって行われた。講師の丸茂高会員の「ホタルの生態とその観察について」のスライドによるご指導を受けた後、センター内の湿地でホタルの観察を行った。小雨模様であったが、夜空に神秘的な光が多数見られた。

第2回は10月6日県立教育センターにて、北村公一会員を講師に「カイコを用いた遺伝実験」を行った。きれいな結果の出る実験であった。

第3回は1月27日(日)午前10時より高麗山にて、門松幸蔵会員を講師に「土壌動物の採集法および同定法」の採集を、午後は県立平塚江南高等学校にて分類・同定・標本作成の実習を行い、身近な自然の研究法を学んだ。

3回とも多数の参加者があり、盛会であった。以下にその概要を紹介する。